



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSACA CENTENNIAL

C/O OSACA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,  
 OSACA, JAPAN

January 2001 No. 7  
 Chartered July 20, 1982

標語 YS SLOGANS (2000~2001)	
クラブ会長	『私が育てるワイズ 私を育てるワイズ 私とワイズの共育』
国際会長	“Equipped for a Purpose” 『常に備えあれ、目的に向かって』
アジア会長	“The new millennium, the new Y'S men” 『ニューミレニアム、ニューワイズメン』
西日本区理事	『イノベーション (革新) ー理想のワイズを求めてー』 “What is the ideal Y's?”
中西部長	『人ワイズに集い、夢限りなし』

クラブ役員 Officers	
会長	: 畠中 彬
副会長	: 川村 一夫
副会長	: 中村 茂高
書記	: 山田 孝彦
会計	: 三浦 直之
ネット会長	: 畠中ひろみ
連絡職員	: 神田 尚人

## 月間強調テーマ : 『IBC・DBC』

明けましておめでとうございます。恭賀新禧。A Happy New Year! Hauoli Makahiki Hou!

### 《《《《 1月の聖句 》》》》

#### 【Biblical Message of the Month】

航海に出て荒波を越えて行こうとする人は、自分を運ぶ船よりももろい船首の木の像に助けを求める。利益を求める人間の欲望が船を考え出し、船大工がそれを作った。

しかし父よ、船を導くのはあなたの摂理。あなたは海の中にも道を設け、波の中にも安全な小道を造られた。人をあらゆる危険から救う力をあなたには示されたので、航海の技術のない者でも船に乗れる。

あなたは智慧の働きをやむことを望まれない。そのため人は極めて小さな船板にさえも命を託し、木の船で波を乗り越えて無事に航海ができた。

その昔、高慢な巨人たちが滅びたとき、世の希望であったあの人は木の船で難を逃れ、御手に導かれ、後に続く世代の種を世に残した。

(旧約聖書 続編 智慧の書 13章 1~6)

### 《《《《 Attention Please 》》》》

- 1月例会で次年度役員を選出します。皆さんの総意で21世紀に相応しい新たな役員を選びましょう!
- お年玉付年賀ハガキ『当選切手シート』を忘れずに集めておきましょう!

### 【クラブ統計 Statistics】 \*11月出席率68.2%に訂正

2000年12月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント		ニコニコ献金
在籍会員 22名	メン	15名	12名	11月:切手 1,576 gr.	11月: 16,000	
例会出席 15名	メネット	7名	5名	現金 3,000円	(YMCA Xmas 献金へ)	
メイクアップ 1名	コメント	1名	名	累計:切手 5,839 gr.	累計: 113,058円	
出席率 72.7%	ゲスト	0名	2名	現金 29,240円	(除Xmas 献金、オー	
(Attendance Ratio)	合計	23名	19名	(明細はP3 “BF報告”参照)	クシヨン、記念献金)	

### 《《《《 1月「新春」例会 》》》》

#### 【January “New Year” Meeting】

##### ◇第1例会

日時: 2001年1月17日(水) 18:30~20:30  
 場所: ホテルサンガーデン堂島 4F

司会: 山村 幸明 君

1. 開会点鐘 畠中 彬 会長
2. ワイズソング ー 同
3. 月間テーマ説明 藤原 正巳 君
4. 聖句朗読 福永 嘉彦 君
5. ゲスト紹介 畠中 彬 会長
6. 入会式・阿部征一君 畠中 彬 会長
7. 日々の糧 ー 同
8. 晩餐 ー 同
9. クラブ総会 議長・畠中 彬 会長  
 . 「次期クラブ役員選出」
10. お誕生日祝い ー 同
11. ニコニコ献金 ドライバー
12. 報告タイム 役員・連絡職員
13. 閉会点鐘 畠中 彬 会長

##### ◇第2例会

日時: 2001年1月24日(水) 18:30~20:30  
 場所: 大阪YMCA 土佐堀館 9F

例会当番: 福永、三浦、隅田、山村、川越  
 お誕生日: 中村メネット1日、中村茂19日、  
 池永メネット25日

＜＜＜＜ 今月の聖句に寄せて ＞＞＞＞

この聖句は偶像崇拜をやめて、神から与えられた智慧と神への信仰と信頼をもって、世の中の荒波を渡ってゆくべきことを教えています。

いよいよ21世紀の幕開けです。この新しい世紀を輝かしいものとするか否かは、人間の手にゆだねられています。ここで偶像とは何でしょうか。それは本来頼るべきでないもの、頼ってはいけないものを指しています。それは御利益（ごりやく）のみを求める似て非なる宗教であったり、抜き難い人間のエゴかもしれません。

しかし、私たちは智慧を働かせて、宇宙船地球号に乗り合わせている人間として、他者を思いやる心をもって、身の回りの事柄から社会や国家間の確執、地球環境の問題にまで心を馳せて他者の幸福、他者への愛を考えたいものです。

聖句の終りの3行はノアの箱船を指していますが、ノアの絶対的の神への信頼は、21世紀の、苦難が予想される航路を航行するお互いにとって学ぶべき多くのものがあると思います。

(聖句選、コメント:黒田巖之)

＜＜＜＜ 12月第1例会 ＞＞＞＞

【 Report of the Joint Xmas Gathering at the YMCA 】

(12月9日(水) 17:30~20:30)

広報委員長・藤原 正巳

12月第1例会は、大阪YMCAと、土佐堀、なかのしま、セントラル、及びセンチニアルのワイズ4クラブによる合同クリスマスの集いとして開催されました。

第1部は、キャンドルの明かりの中で厳粛なクリスマス礼拝が大阪教会行われました。長い伝統を感じさせる石造りの教会で、主の降誕を祝う賛美歌と牧師の説教を聴きながら、出席者一同クリスマスの意義を考え、来るべき世紀を思うひとときでした。

第2部は一転がらりと雰囲気を変え、大阪YMCA国際専門学校、学生YMCAなど、若者の皆さんの演出になる歌と踊りの賑やかな祝会となりました。

特に終盤では、在日韓国人学生の皆さんによる鉦や太鼓の演奏と踊りに誘われ、若いも若きも踊りの輪に加わって、会場はさながら「大盆踊り」のような風景を呈しました。

「歌に国境はなく、踊りに年齢はない」というのは正に至言で、皆さん大いに若返った楽しい祝会でした。

Merry Christmas! 以上

＜＜＜＜ 12月役員会・納会 ＞＞＞＞

【 Report of the December Club Meetings 】

(12月20日(木) 17:30~20:30)

書記・山田 孝彦

◇ 役員会 (17:30~18:30)

当日の協議事項は次の通りです。

1. 1月例会プログラム:表記プログラムの通り

＜＜＜＜ Club Activities ＞＞＞＞

1. A total of 23 members, some Y's menettes and Y's lings of our club attended at the Joint Christmas gathering held at the Osaka YMCA on December 9th, together with three other Y's Men's clubs' members.

After impressive church service held at the Osaka United Church, everyone had delicious meals while enjoying singing songs, playing dances, thus developing fellowship.

2. On the 20th of December, the club's last meeting for this year was held at the Hotel Sun Garden Dojima, where 12 members, 5 Y's menettes and 2 guests met. We received with warm welcome the two prospective candidates, Mr. Masaaki Shinpo and Mr. Shunichi Tanigawa as our guests that evening.

Before the last meeting for this year, we had our club officers' meeting to nominate for incoming new officers. The election will take place at the general meeting January 17th, 2001.

We are very glad to announce that the induction ceremony for Mr. Seiichi Abe will be held at the January meeting. He will be the third club members to join our club during this term.

oo

①次期役員を選考

主要ポストにつき選考実施。島中会長より総会開催までに了解工作実施の予定

②阿部征一氏入会式

式文、入会キットなどの準備を確認

③タイ・エイズ孤児救済センター・吉田登氏卓話

スライド準備、献金方法、謝礼などにつき確認、同氏の略歴については、本ブリンテン4頁に記載

2. 2月例会プログラム:CS・TOF 強調月間

卓話:新保正秋氏『障害者をどう支援するか (仮題)』

阿部征一氏『ちょっとスピーチ』を予定

3. クラブ運営関係:

各種会合等の予定確認 (詳細はP4.を参照下さい)

◇ 納会 (18:30~20:30)

役員会終了後ホテル提供の紅白のワインと、少レグレードアップされた食事を楽しみながら、島中会長の司会で出席者全員による『本年度の活動報告』が行われました。

話題はワイズ活動に対する反省や思入れなど、広範囲に及びましたが、当日は前回出席された新保正秋氏、及び島中会長の入会時の紹介者である谷川俊一氏がゲストとして出席され、センチニアルの将来に大きな期待が膨らむ一夜でした。

両氏の入会が早期に実現し、センチニアルが新世紀に向かって益々発展することを祈ってやみません。

以上



(踊り疲れました。YMCA 合同クリスマス参加者一同)



(正面席に居並ぶセンテニアル「希望の星」一納会にて)



(20世紀の活動も今日で終わりました。一納会にて)

《《《 Yサ事業資金取組みへのお願い 》》》》

Yサ・ASF委員長 福永 嘉彦

標記の件については、かねてより「未使用テレホンカード」、及び「書き損じハガキ」のご提供をお願い致しておりますが、12月分は一応締切りました。ご協力有難うございました。次回は年賀状の書き損じ等をお願いします。

目標は、従来通り1人当り未使用テレホンカード1枚以上、書き損じハガキ3枚(135円)以上をご提供願います。最終締切りは4月末日ですが、出来次第お届け願います。以上よろしく。

《《《 CS・TOF委員会からのお願い 》》》》

CS・TOF委員長 栗山 佳三

1. お年玉年賀はがき「当選切手シート」を集めましょう！  
 目標：1人当り『14シート』、金額換算で1,800円  
 目標枚数に以下の場合、差額は現金でカバー  
 提出日：2月第1例会にご持参下さい。  
 抽選日：1月14日〔日〕  
 お願い：当選ハガキは必ず「郵便局で交換して」ご持参下さい。
2. リーストコイン（1円玉貯金）のご準備を！  
 提出日：2月第1例会にご持参下さい。  
 お願い：コインは「銀行にて交換し」ご持参下さい。
3. タイム・オブ・ファースト、ファミリー献金のお願い  
 これは、ファミリー・ファースト（飢餓に苦しむ人達を思い、家庭で行う断食活動）による献金活動です。  
 目標：1人当り1,000ポイント（1,000円）  
 提出日：2月第1例会にご持参下さい。

《《《 11月BFニュース 》》》》

[Report of the Brotherhood Fund in December]

BF委員長・隅田 保

- ◇切手提供者：  
 黒田君、鈴木君、谷川君、島中君、福永君、三浦君、山田君、山村君  
 ＊今月の殊勲賞 島中君（1,000g）  
 ◇現金提供者：鈴木君、山田君

《《《 YMCA ニュース 》》》》

連絡職員・神田 尚人

- ★2001年ニューイヤーパーティー  
 日時：1月5日(金)18:00～19:30  
 場所：大阪YMCA会館2Fホール  
 内容：新年礼拝・新年懇親会  
 対象：協力会員  
 参加費：2001円  
 ＊常勤のスタッフも多数参加します。日頃皆さんとあまり親しくお話できない顔ぶれが沢山揃いますので、どうぞご参加ください。

- ★早天祈禱会  
 日時：1月12日(金)7:30～8:30  
 場所：大阪YMCA会館10Fチャペル  
 証し：徳田 望（大阪YMCAスタッフ）

- ★シニアキャンプ・イン・ハワイ  
 日程：2月12日(月)～17日(土)  
 場所：ハワイ（ホノルル・ワイアレア）  
 内容：キャンプ・市内観光・現地シニアの方との交流  
 費用：18万円  
 対象：健康でキャンプに興味をお持ちの方

＊先日お伝えしたVISION2010、中期3ヵ年計画に続き、『大阪YMCAの使命』が決定しました。将来に向かってのVISION、目標、使命が揃い、力強く前進して参りたいと思います。皆様の変らぬご支援をお願い致します。（使命は1月号『大阪青年』をご覧下さい。）

